

国立大学法人三重大学

環境·SDGS方針



大学基本理念

三重から世界へ 世界から三重へ 未来を拓く地域共創大学 地域に根ざし、世界に誇れる教育・研究に取り組み、人と自然の調和・共生の中で、 社会との共創に向けて切磋琢磨する。

環境·SDGs基本方針

三重大学は、大学基本理念のもと、地域に貢献する総合力とチーム力を高めて「つながる知、ひらく未来、地域共創大学」への発展に努めます。すべての構成員がSDGs(持続可能な開発目標)の趣旨を理解し、環境先進大学としての取り組みをさらに強化し、環境・SDGsのプラットフォーム機能を築き上げ、カーボン・ニュートラル社会の形成などに向けた環境の諸課題を地域と共に探究し、新しいコミュニティづくりの一翼を担う地域共創大学として、持続可能な社会の構築に寄与します。この環境・SDGs方針を達成するために、SDGsの17のゴールの達成に資する環境マネジメントシステムを確立、実施、維持し、向上に努め、環境関連法令等の要求事項を遵守することにより、自らの教育・研究・社会貢献及び業務運営の能力を活かし、さらに発展的な環境・SDGsの取り組みを進める決意を表します。

環境・SDGs取り組み

一教育一

環境とSDGsの知見と行動力を兼ね備え、 持続可能な社会の担い手となる学生を輩出するための教育を実施する。

一研究一

環境問題の解決とSDGsの達成に向け、

産官学民との分野横断的なパートナーシップと文理融合を成す研究力向上を加速させる。

一社会貢献一

教職員と学生が産官学民と共創を図り、環境問題の解決とSDGsの達成に向けた リカレント教育等を通じて、活気ある豊かな社会の実現に貢献する。

一業務運営一

すべての教職員と学生が、カーボン・ニュートラルや資源の有効活用および SDGsの取り組みなど、事業に関わる環境保全・SDGsの推進に努める。

三重大学は、この環境・SDGs方針を学内すべての教職員及び学生を含めた関係者に周知し、 一般にも公開します。

制定日 2021年4月1日 改定日 2023年4月1日

国立大学法人三重大学長

伊藤正明



SD(GS)



世界から三重へ 地域に根ざし、世界に誇れる教育・研究に取り組み、人と自然の調和・共生の中で、 社会との共創に向けて切磋琢磨する。

環境·SDGs基本方

三重大学は、大学基本理念のもと、地域に貢献する総合力とチーム力を高めて「つながる知、ひら く未来、地域共創大学」への発展に努めます。すべての構成員がSDGs(持続可能な開発目標)の趣 旨を理解し、環境先進大学としての取り組みをさらに強化し、環境・SDGsのプラットフォーム機能 を築き上げ、カーボン・ニュートラル社会の形成などに向けた環境の諸課題を地域と共に探究し、 新しいコミュニティづくりの一翼を担う地域共創大学として、持続可能な社会の構築に寄与します。 この環境・SDGs方針を達成するために、SDGsの17のゴールの達成に資する環境マネジメント システムを確立、実施、維持し、向上に努め、環境関連法令等の要求事項を遵守することにより、自 らの教育・研究・社会貢献及び業務運営の能力を活かし、さらに発展的な環境・SDGsの取り組み を進める決意を表します。

環境・SDGs 取り組み

環境とSDGsの知見と行動力を兼ね備え、 持続可能な社会の担い手となる学生を輩出するための教育を実施する。

— 研究 —

環境問題の解決とSDGsの達成に向け、

産官学民との分野横断的なパートナーシップと文理融合を成す研究力向上を加速させる。

一社会貢献

教職員と学生が産官学民と共創を図り、環境問題の解決とSDGsの達成に向けた リカレント教育等を通じて、活気ある豊かな社会の実現に貢献する。

一業務運営一

すべての教職員と学生が、カーボン・ニュートラルや資源の有効活用および SDGsの取り組みなど、事業に関わる環境保全・SDGsの推進に努める。

三重大学は、この環境・SDGs方針を学内すべての教職員及び学生を含めた関係者に周知し、 一般にも公開します。

> 制定日 2021年4月1日 改定日 2023年4月1日

伊藤正明